放火されない街づくりのために

一般住宅	放火火災の実態	１家の外に出してある不用品、古新聞などに放火される。 ２郵便受けや新聞やチラシ類に放火される。 ３ベランダに干してある洗濯物に放火される。
	放火される要因	１ブロック塀などにより、内部に侵入した者を隠してしまう。 ２建物の周囲に不用品や古材、ゴミなどが積んである。
	対　　策	１塀は、金網や生垣を低くし、死角をつくらないように工夫しましょう。 ２不用品や古材は整理整頓して物置に保管しましょう。 ３外出時や就寝する時は、窓、ドア等の開口部は必ず施錠しましょう。 ４門扉、通用口、車庫、物置等は必ず施錠しましょう。 ５夜間用照明機器を利用して、不審者に対処しましょう。 ６敷地外周部の可燃物に注意しましょう。
駐車場	放火される実態	１車両のボディーカバーに放火される。 ２連続して放火されることが多い。 ３車上窃盗、盗難など犯罪行為を隠ぺいするために放火される。
	放火される要因	１屋外駐車場は、人目につきにくい。 ２ボディーカバーは火をつけやすい。 ３ゴミ、枯草など可燃物が散乱している。
	対　　策	１塀は、金網や生垣を低くし、死角をつくらないように工夫しましょう。 ２駐車場への出入口を決め、自由に出入りできないようにしましょう。 ３常夜灯を設置して、駐車場内を明るくしましょう。 ４ボディーカバーは防炎品を使用しましょう。 ５車両のドア、窓は完全に閉めて施錠しましょう。 ６所有者・管理者は不定期に巡回を行いましょう。
空家等	放火される実態	１建物周辺に捨てられている生活用品やゴミ等に放火される。 ２空家、空室内に入り込んで放火される。
	放火される要因	１敷地内、建物内に出入りが自由にできる。 ２居住者がいないため、不審者に対する監視ができにくい。 ３建物周辺や建物内に燃えやすい物が多量にある。
	対　　策	１ドアや窓は施錠し、侵入できないようにしましょう。 ２空家の周囲を金網や鉄板で囲い、出入りできないようにしましょう。 ３夜間、建物周囲をライトアップしましょう。 ４所有者・管理者をはっきりさせて、連絡体制を確立しておきましょう。 ５所有者・管理者は不定期の巡回を行いましょう。

名取市消防署　警防係
電話：３８２－３０１９
内線：４２０・４２１